

代表者名	吉野 恭司	所管部課名	産業経済労働部労働政策課
所在地	秋田市山王四丁目1-1	設立年月日	昭和48年10月26日

**【沿革、及び、県の出捐理由】**

S48.10.26	財団設立
S49.5.1	八郎瀧ハイツ開設
S52.8.2	いこいの村開設
H2.1.1	福祉施設運営指導センター発足
H12.4.1	福祉施設運営指導センター廃止 勤労者の福祉の向上に寄与するため出捐

**【出捐者】(13年度末)** (百万円、%)

区分	団体数	出捐額	構成比
秋田県	1	13	76.5
市町村	3	4	23.5
その他			
計	4	17	100.0

**【事業】**

**主たる業務**

勤労者総合福祉施設(八郎瀧ハイツ・いこいの村)の運営管理

**事業実績** (人)

事業名等	11年度	12年度	13年度
八郎瀧ハイツ宿泊	14,025	13,917	13,267
八郎瀧ハイツ日帰	44,895	42,321	31,896
いこいの村宿泊	19,071	18,558	17,835
いこいの村日帰	19,859	17,732	16,424

**13年度事業概要、及び、14年度事業計画・目標**

平成13年度は、利用人員79,422人(前年比13,106人減)となり、収益の落ち込みを人件費の抑制と管理費の削減による支出の減で補い単年度黒字を計上した。

平成14年度目標

宿泊32,657人、日帰り54,943人

**【組織】**

**運営機構**



**役員数** (人)

	理	事	監	事
常勤				
内、県OB				
非常勤		7		2
内、県OB				
内、県職員		2		
計		7		2
内、県関係者		2		

**職員数** (人)

正職員	39	正職員 平均年齢	51.2歳
内、県OB			
出向職員			
内、県職員			
臨時・嘱託	7	正職員 平均勤続年数	19.8年
内、県OB			
計	46		
内、県関係者			

**【財務】**

**損益状況(13年度)** (百万円)

	金額
經常収入 A	472
受託事業収入	
補助金収入	
自主事業収入	
運用益収入	
その他	
經常支出 B	463
人件費	186
その他	277
經常損益 C = A - B	9
經常外収入	0
經常外支出	4
当期損益	5

**財務状況(13年度末)** (百万円、%)

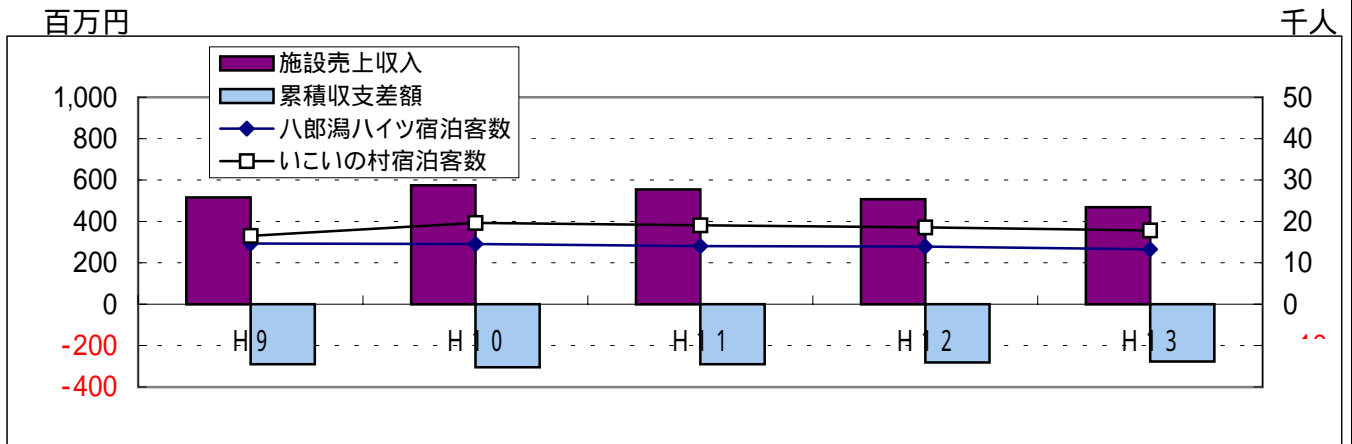
	金額	構成比
流動資産	34	60.7
固定資産	22	39.3
資産計	56	100.0
流動負債	296	528.6
短期借入金	272	485.7
固定負債		
長期借入金		
引当金等	19	33.9
負債計	315	562.5
基本金	17	30.4
剰余金	-276	-492.9
資本計	-259	-462.5
負債・資本計	56	100.0

**【県の財政支出】**

(千円)

	11年度	12年度	13年度	支出目的・対象事業概要等
補助金				
委託費				
貸付残高	262,000	255,000	255,000	勤労者研修・保養施設経営基盤強化支援事業貸付金

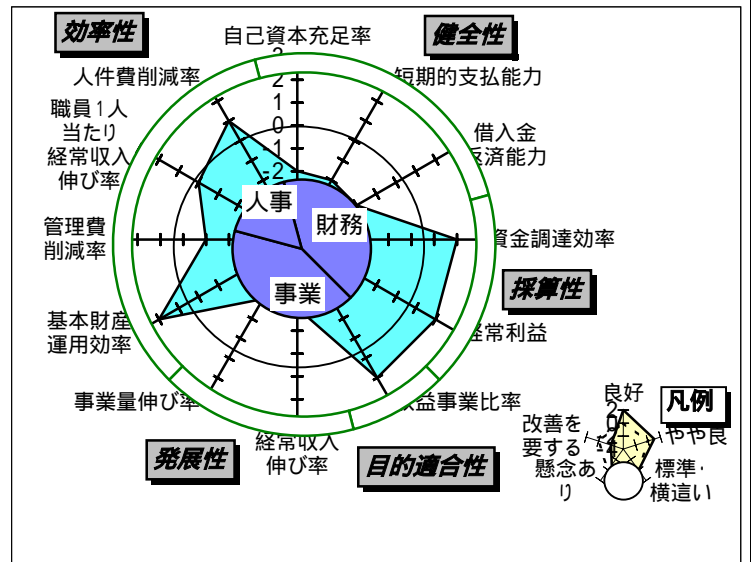
【事業等の推移】(過去5年度)



【諸比率等】(13年度)

自己資本比率	-459.71 %
流動比率	11.48 %
借入金返済年数	42.01 年
支払利息比率	0.12 %
経常利益率	2.08 %
収益事業比率	0.00 %
経常収入額	471,525 千円
事業量(年間利用人員)	79,422 人
基本財産運用効率	0.08 %
管理費比率	10.93 %
職員1人当り経常収入額	10,251 千円
人件費比率	39.41 %

【各評価項目レーダーチャート】



【経営概況、経営上の課題・問題点等】

平成11年度以降、黒字を維持しているが、主に人件費等の経費削減による効果であり、誘客促進が利用客の増加につながっていない。  
平成16年度末までの雇用能力開発機構からの施設譲渡を見据え、経費削減と合わせ誘客促進について更なる強化が必要である。

【経営評価】

概ね安定した経営内容	一層の努力を要する経営内容
施設譲渡後の経営も視野に、一層の経営改善を図り、累積損失の縮小に努める必要がある。	